

K U N 広報 I M I



No.260

1995-2月

平成7年2月15日

発行・編集 国見町総務課

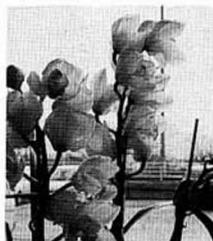
- 平成7年国見町成人式——2
- 第13回統一地方選挙——3
- 阪神大震災被災者への義援金集まる——4～5
- 人口増が過去10年間で最多に——6
- 農業における女性の役割学ぶ——7
- お知らせ——8～9
- 公民館だより——10～11
- わだい——12



パソコンで

楽しく学ぶ

県北中学校に、このほどネットワークシステムの21台のパソコンが導入され、生徒の皆さんは楽しく授業に臨んでいます。



# 202名が大人の仲間入り

## 平成七年国見町成人式

成人の日の一月十五日、観月台文化センターにおいて、平成七年国見町成人式が行われ、二百二名が、大人の仲間入りをし

ました。成人式当日は、厳寒にもかかわらず、色あでやかな晴れ着姿や真新しいスーツ姿の成人者が



厳かに挙行された平成7年国見町成人式



新成人を代表して答辞を述べる寶槻さん

地区ごとに新成人の名前が呼びあげられ、成人証書が富永町長から小坂・藤田・森江野・大木戸・大枝地区の代表に手渡された。式後、富永武夫町長が、「心身ともに健やかに成長して、立派な成人になられましたことを心からお祝い申し上げます」と式辞を述べました。

東海林正子町選挙管理委員会委員長が祝辞を述べ、寶槻美奈子さんが新成人を代表して、「私たちは今日をスタートとして、新たな夢と目標を持ち力強く生きていこうと思います」と答辞を述べました。

式場において記念撮影を済ませた成人者は、大研修室において行われた記念パーティーに出席。やや緊張気味だったもののジュースで乾杯した後は打ち解け、和やかにお互いの成人を祝い合っていました。

式後も、久しぶりに再会した友達と写真を撮り合うなど、成人らしい光景が見られました。



記念パーティーで昼食をほおぼる新成人の皆さん

### 成人式に先立ち

### 彫塑を除幕

観月台文化センターの完成を記念して町内の企業などから寄贈された四点の彫塑がこのほど出来上がり、除幕式が一月十五日、成人式に先立ち観月台文化センター多目的スペースにおいて行われました。

除幕式は、富永武夫町長、仲野周一町議会議長、制作者、寄贈者らに成人者の各地区の代表十名が加わって行われ、富永町長のあいさつの後、来賓の仲野町議会議長と本間利雄設計事務所所長が祝辞を述べました。

続いて、出席者により次々と彫塑の除幕が行われ、感嘆の声と拍手がわき起こりました。彫塑は、日本彫塑会会員で福島女子短期大学講師の神野忠和さんが制作した「おとめ」「風光る」「あかとき」の三点と、自由美術協会会員で福島大学教授の白沢菊夫さんが制作した「ゆめ」の合わせて四点です。

いずれも、県内を代表する二人の作家によって制作された力作とあって、見事な出来栄え。それぞれの設置場所にとけ込み景観を引き立てています。

## 彫塑紹介 (敬称略)



〔ゆめ〕  
寄贈者 (株) 盛商會  
制作者 白沢菊夫  
設置場所 センター棟一階階段  
登り口ローナー  
(図書室脇)



〔おとめ〕  
寄贈者 国見電子(株)  
制作者 神野忠和  
設置場所 センター棟一階階段  
登り口ローナー  
(歴史資料室脇)



〔風光る〕  
寄贈者 福島信用金庫  
制作者 神野忠和  
設置場所 正面玄関右手  
(庭園の中)



〔あかとき〕  
寄贈者 J A 国見町  
台座寄贈者 八巻石材工業(株)  
制作者 神野忠和  
設置場所 ホール棟公園側  
(庭園の中)



### 第13回統一地方選挙

## 四月に県議選・町議選

地方公共団体の議会の議員及び長の選挙期日等の臨時特例に関する法律(臨時特例法)及び同法施行令が、昨年十一月十八日に公布され、今年三月より五月までに任期の満了が予定されている地方公共団体においては、都道府県議会議員及び長にあっては四月九日、市町村の議会議員及び長にあっては四月二十三日に選挙期日が統一されました。この統一地方選挙は、全国の地方公共団体の議会の議員及び長の多くが、三月から五月に任期満了となるため、住民の選挙意識の高揚や選挙事務の効率化を図るために統一して行われる

ものです。

◆ 町町においても、福島県議会議員一般選挙及び国見町議会議員一般選挙が実施されます。

### 福島県議会議員一般選挙

3月31日(金) 告示  
4月9日(日) 投票

◆ 投票できる人

● 昭和五十年四月十日以前に生まれた方(投票日現在二十歳以上)

● 平成六年十二月三十日以前から引き続き国見町民である人。ただし、十二月九日以降県内の他の市町村に転出した人でも、転出先の市町村の選挙人名簿に登録されていないければ、当町で投票できます。

◆ 議員定数

伊達郡選出 四名

### 国見町議会議員一般選挙

4月18日(火) 告示  
4月23日(日) 投票

◆ 投票できる人

● 昭和五十年四月二十四日以前に生まれた人(投票日現在二十歳以上)

● 平成七年一月十七日以前から引き続き国見町民である人

◆ 議員定数

二十名

有権者数  
(平成六年九月一日現在)  
男 4,408人  
女 4,757人

国見町議会議員立候補予定者に対する説明会

国見町選挙管理委員会では、

国見町議会議員に立候補を予定している方、またはその代理の方を対象に、次の日程で立候補の届出、選挙公営制度、不在者投票制度、選挙運動の概要等について説明会を開催いたします。立候補予定者はご出席ください。

◆ 日時

平成7年3月22日(水)  
午後1時30分

◆ 場所

国見町役場委員会室(三階)

統一地方選に係る後援団体に関する寄附等の禁止及び政治活動用ポスターの掲示の禁止について

臨時特例法及び同法施行令の

公布により、統一地方選挙においては、公職選挙法第一九九条の五(後援団体に関する寄附等の禁止)の規定により、それぞれ期日前九十日にあたる日から当該選挙の期日までの間は、後援団体に関する寄附等が禁止されます。

この九十日にあたる日とは、福島県議会議員選挙にあっては平成七年一月九日、国見町議会議員選挙にあっては一月二十三日となり、それぞれ同日から選挙の期日までの間、後援団体に関する寄附は厳しく制限されます。

また公職選挙法第一四三条第一六項の規定により、政治活動用ポスターは、任期満了の日の六カ月前から選挙の期日までの間、当該選挙区内に掲示することが禁止されています。

# 阪神大震災

## 被災者へ愛の手を

### 義援金二百二十九万円集まる

1/31現在

一月十七日未明に発生した地震は、史上初めて震度七（激震）を記録し、戦後最悪の自然災害となつてしまいました。

「阪神大震災」（兵庫県南部地震）により、電気、ガス、水道などのライフラインは分断され、亡くなった人が五千三百人を超え、家屋損壊も十万棟を数えるなどの目を覆うばかりの惨状と焦土と化した阪神地区の市街地の様子が、連日テレビ等で報じられています。

回覧や広報を通じ義援金をお願いしておりますところ、町民の皆さんから、「一日も早い復旧を……」「少しでもお役に立てれば……」と、温かい義援金が寄せられ、その金額は、一月三十一日現在、二百二十九万三千五百三十五円になりました。

町（日本赤十字社国見町分区分）では、早速、日赤県支部等を通じ被災者の方々に義援金を贈りました。紙面をお借りして、被災者の皆さんにお見舞い申しあげますとともに、義援金をお寄せいただいた皆さんに厚くお礼申しあげます。



森江野小学校的皆さん



国見ニューモラルクラブの皆さん



泉田中町内会の皆さん



国見ライオンズクラブの皆さん

#### 日本赤十字社国見町分区分へ義援金をお寄せいただいた方々

（順不同・敬称略）

- ▽藤田婦人会 五十万円
- ▽公立藤田総合病院白藤会 三十万円
- ▽国見町職員等（特別職・一般職等） 三十万円
- ▽国見町議会議員会 二十万円
- ▽町土木建設業協会 十六万円
- ▽森江野小学校 十一万八千五百円
- ▽国見ライオンズクラブ 十万円
- ▽泉田中町内会 四万六千円
- ▽国見町農薬委員会 四万円
- ▽公立藤田総合病院有志 三万八千円
- ▽熊田一男 三万円
- ▽羽根善兵衛 三万円
- ▽貝田老人クラブ婦人部 三万円
- ▽消防団第一分団 三万円
- ▽保健委員・母子保健推進員（中村兼吉、高橋芳男、奥山美津子、阿部照子、瀬戸喜代子） 三万円
- ▽野村塗装店 三万円
- ▽国見町ゲートボール協会 三万円
- ▽仲田建設 阿部重男
- ▽川見建業 深沢富吉
- ▽菊地重喜 斎藤政勝
- ▽遠藤政六 鈴木勝也
- ▽中山 隆 佐久間岩吉
- ▽羽賀修一 吾妻金一
- ▽菅井憲三 松浦金蔵
- ▽吉田勝美 後藤忠蔵
- ▽奥山広一 菊地洋一
- ▽三木小夜子 斎藤博三
- ▽鴨田武文 野村伍平
- ▽大岩ツリリングクラブ 十万円
- ▽くすりの高野 九千九百円
- ▽大庭子ヨノ 七千七百七十円
- ▽宮本 言 五千六百二十七円
- ▽五千円をお寄せいただいた方々
- ▽ひつみ会 浅野康弘
- ▽浅野ミサヲ 内村忠太郎
- ▽佐藤利雄 八島高明
- ▽紺野モト 佐藤長吉
- ▽野村裕一 安藤正重
- ▽村上美紀子 関本 東
- ▽佐藤三男 阿部文夫

（次頁に続く）



藤田婦人会の皆さん



町土木建設業協会の皆さん



第4町内会(石川さん)

おことわり

今回は、一月受付分のみを掲載いたしました。二月以降の分につきましては、次号で掲載いたします。



国見町灯油部会の皆さん



消防団第1分団の皆さん

一月十七日発生の阪神大震災による被災者に対して、多くの方々から義援金が寄せられています。個人が日本赤十字社またはこれに協力する募金団体(新聞・放送等の報道機関、慈善事業団体または商工団体等)に対してきよ出(寄託)した義援金

## 災害義援金に係る寄附金控除

については、地方団体に対する寄附金として、十万円を超える額について、平成八年度の個人住民税(個人県民税・個人町民税)の所得控除を受けることができます。

募金団体等が発行した領収証書等で、阪神大震災に伴う義援

金であることが明らかなものを保存しておくようにしてください。

詳しいことは、福島県東北地方振興局県税部(☎21-7632-7639)または国見町役場税務課(☎85-2111)にお問い合わせください。

なお、所得税、法人税の寄附金控除については、福島税務署(☎33-4811)にご照会ください。

- ◇その他義援金をお寄せいただいた方々
- ▽玉手千代
  - ▽阿部美奈子
  - ▽阿部秀男
  - ▽横山市郎
  - ▽山田美津江
  - 二人の方が匿名で二万円と九千八百八十三円をお寄せくださいました。
  - ▽永野修子
  - ▽野村トモ
  - ▽国分次雄
  - ▽富野秀雄
  - ▽本多コト
  - ▽八巻敏美
  - ▽菊地智子
  - ▽志田広孝
  - ▽佐藤平三郎
  - ▽鈴木孝雄
  - ▽芳賀三千子
  - ▽武田ひさ子
  - ▽安孫子 望
  - ▽安孫子 敬子
  - ▽高橋ヒサ子
  - ▽吉田ウメ
  - ▽八島マツヨ
  - ▽牧野光子
  - ▽市川多門
  - ▽菊地憲七
  - ▽佐藤和歌子
  - ▽安藤玉井
  - ▽国分秀子
  - ▽国井千代子
  - ▽草野敬子
  - ▽渡辺珠里
  - ▽大野重好
  - ▽佐藤富子
  - ▽鈴木一子
  - ▽武田正俊
  - ▽鈴木 涼
  - ▽平野 真
  - ▽安孫子 恵
  - ▽亀岡キミ子
  - ▽佐藤キクヨ
  - ▽泰 美子
  - ▽佐久間英子
  - ▽三品真咲
  - ▽奥山辰子
  - ▽野村フミ
  - ▽菅野正也
  - ▽野村 茂
  - ▽石川キン
  - ▽岡田チン
  - ▽松田ウメ
  - ▽岡崎武治
  - ▽八巻きみ子
  - ▽関本喜子
  - ▽唐見キイ
  - ▽加藤拙生
  - ▽佐藤治男
  - ▽竹内亜惟
  - ▽奥山夏美
  - ▽菊地二郎
  - ▽大石富三
  - ▽岡田フサノ
  - ▽佐久間慶博
  - ▽大沼タメ
  - ▽佐藤千代
  - ▽今野としの
  - ▽後藤キヨ
  - ▽玉木洋子
  - ▽村上恒夫
  - ▽菊地良七
  - この他五名の方が匿名で義援金をお寄せくださいました。



# 女性の役割大切

『農業と生活を考える集い』



集いでのパネルディスカッション光景

伊達地方「農業と生活を考える集い」が、二月一日、親月台文化センターホールにおいて開催され、会場を訪れた生活改良推進員など百三十名は、農業における女性の役割を学びました。

集いでは、主催者の堀江恵子伊達地方生活改善グループ連絡協議会長と中村絳夫伊達地域農業改良普及センター所長があいさつ、続いて富永武夫国見町長が祝辞を述べました。

夫婦とともに築く農業経営

をめざそう」をテーマに行われたパネルディスカッションでは、県婦人農業士の黒沢節子さん（蘆山町）が、コーディネーターを務め、農業経営における記帳や

家族の協力体制について、盛んに論議が交され、国見町の高橋幸子さん（洋品店経営）も、伊達管内の農業に従事する四人のパネラーに交じり、堂々と意見を述べました。

昼食後は、県婦人農業士の佐々木テル子さんが、「女性が農業経営に参画するために」をテーマに講演しました。参加者は、明日の農業経営に少しでも役立てようと真剣に聞き入っていました。

# 『子ども養育講座』に六十名が参加

『子ども養育講座』が、一月十二日、親月台文化センター大研修室で開催され、町内から約六十名が参加しました。

講座では、斎藤浩之福島中央児童相談所長、富永武夫町長のあいさつの後、県立盲学校長嶋原弥先生が講演を行いました。嶋原先生は、県の教育センターの相談部に勤務後、養護教育

センターの所長を歴任され、障害児教育をはじめ、様々な児童問題に長い経験をお持ちの方です。

嶋原先生は、学校でのいじめや児童の自殺などの現在話題となっている問題から幼児期の家庭教育や育児環境までを取りあげ、豊富な経験を交えて講演しました。



熱心に講演を行う嶋原先生

講演後も参加者の皆さんから熱心な質問が寄せられ、先生は気さくに答えていました。

# 自動車のキーをつけたままが5.4%

防犯診断実施結果

自動車のキーをつけたままの駐車が5.4%、ドアロック忘れの駐車が14.5%……。

「エー、こんなにも」と驚く方が多いのではないのでしょうか。この数字は、昨年十二月十六日に桑折地区防犯協会連合会と桑折地区防犯指導隊により実施された、桑折署管内の自動車の一斉防犯診断（国見町分）の結果です。

愛車の戸締まりは、自動車の盗難や車上荒らしを防止するばかりでなく、重大犯罪を防ぐうえでも大切です。

キーをつけたままや、ドアロックをしないで駐車していないを確認する習慣をつけましょう。

自動車の一斉防犯診断実施結果

	自動車				オートバイ			
	実施数	指 導 数		実施数	指 導 数			
		キーをつけたまま	ドアロック忘れ		キーをつけたまま	指 導 数		
国	544	5 (0.9%)	30 (5.5%)	21	0 (0.0%)	2	1 (11.8%)	
小	120	11 (9.2%)	20 (16.7%)	17	1 (5.9%)	2	1 (11.8%)	
森	553	51 (9.2%)	102 (18.4%)	—	—	—	—	
大	280	28 (10.0%)	57 (20.4%)	17	12 (33.3%)	4	4 (23.5%)	
大	457	11 (2.4%)	75 (16.4%)	62	12 (6.5%)	4	4 (6.5%)	
町	計	1,954 (5.4%)	106 (14.5%)	284	112 (8.9%)	10	10 (11.8%)	

今年の四月から学校が

第二土曜日に加え

第四土曜日も

休業日となります



# INFORMATION

・お知らせ

## 住民票の続柄の

### 表記が変わります

平成七年三月一日から住民票の「世帯主との続柄」欄の表記が変わります。

これは、人権問題を配慮して自治省が昨年十二月十五日付で「住民基本台帳事務処理要領」を一部改正し、続柄の表記が変更になったためです。

住民票には「世帯主との続柄」を記載する欄があり、現行規定では嫡出子（正式に婚姻届を出した夫婦間に生まれた子ども）を「長男」「長女」と書くのに対し、非嫡出子（事実婚夫婦間の子ども）は「子」、養子は「養子」と表記することになっていました。このため、入学や就職などで住民票の提示を求められた際に、プライバシーの侵害が起る場合があります。是正を求める声が上がっていました。

新しい表記は、これらをすべて「子」に統一し、住民票の表記からは、嫡出子、非嫡出子、養子等の区別がわからなくなります。併せて長幼の区別（長男、二男など）も

やめることになりました。

表記は次のようになります。

区 分	現 行	改 正 後
嫡 出 子	長 男、長 女…	子
特 別 養 子	長 男、長 女…	子
養 子	養 子	子
非嫡出子(認知)	子	子
同 (未認知)	妻(未届)の子	妻(未届)の子
妻の連れ子	妻の長男、長女…	妻の 子
夫の連れ子	夫の長男、長女、	夫の 子
事実上の養子	縁 故 者	縁 故 者

## 固定資産課税台帳

### 総覧は四月から

例年三月一日から実施していた固定資産課税台帳の総覧は、地方税法の一部改正が予定されているため、平成七年度については、四月三日から四月二十四日にいたします。

#### ■問い合わせ

● 役場税務課固定資産係

☎052111 内線153

## 「ふくしま国体」

### 成功のために

過激派のテロ、ゲリラ防止  
過激派は、神社や個人宅に時限式発火装置を仕掛け放火したり、重要な施設にロケット弾を発射するなどの凶悪なテロ、ゲリラを引き起こしています。

これらのテロ、ゲリラは、過激派の秘密部隊員によって行われていますが、彼らは、日頃善良な市民を装いアパート等で爆弾作りや、次のテロ、ゲリラのターゲットの調査などを行っています。

過激派かな？とピンときたら  
最寄りの警察署・駐在所へ

■問い合わせ・連絡先

桑折警察署 ☎022151



## 戸籍の窓口 (1月受付分)

### 出生おめでとうございます

子の名	保護者	町内会
朝美(ともみ)	佐藤 修	上野
瑞起(みずき)	若生 守	滝山
佳菜(かな)	後藤 重幸	錦町
彩佳(あやか)	小坂 和也	太田川
秀人(しゅうと)	大貫 芳男	宮町北
翼(つばさ)	菅井 潤	泉田下
睦(むつみ)	齋藤 正一	貝田
奈津美(なつみ)	舟山 勝則	宮町南

### 結婚おめでとうございます

氏 名	町内会
八巻 隆男	徳江北
清水 郁子	徳江北
阿川 正明	宮 東
山本 晃美	山口県宇部市
遠藤 和夫	宮 前
鈴木 恵子	伊達町

### おくやみ申しあげます

氏 名	年齢	町内会
佐藤 あやを	93	川 内
鈴木 誠之助	83	大木戸
鈴木 タケヨ	87	築 館
古川 篤亮	80	宮町南
中野 昇三	64	鶯 町
佐藤 喜一	89	泉田上
徳江 きく	74	源宗山西
小林 敏雄	80	原 町
渡邊 興作	77	耕 谷
小島 功	77	源宗山東
高野 喜平	66	鳥 取

受講者募集

朗読奉仕者養成教室

福島県点字図書館では、目の不自由な方のために録音図書を制作しています。制作のためには、多くの奉仕者の協力が必要です。この奉仕者を養成するため次により受講者を募集しています。

◆募集人員

十二名

◆募集期間

三月一日(木)～三月十五日(木)

◆応募資格

- (1)学生・生徒以外の方  
(2)基礎指導 五月～七月  
実技指導 九月～翌年二月  
毎週火曜日(午後一時三十分～三時三十分までの間)

◆応募者の選考方法

録音による音声テスト、漢字の読み書きテストおよび面接により選考します。

◆受講者の条件

養成教室を終了した方は、朗読奉仕者として当館に登録し、録音図書制作に協力していただきます。

◆応募方法

ハガキに郵便番号・住所・氏

地震だ！  
そのときの心得10か条

- グラッ！ときたら火の始末**  
「火を消せ！」とみんなで声をかけ合い、ガスコンロやストーブなどの火を消す。
- 窓や戸を開けて出口の確保を**  
とくに鉄筋コンクリートの建物内にいるときは、閉めたままだと建物のがゆがみ、出入口が開かなくなる可能性がある。
- テーブルの下などに身をふせる**  
倒れやすい戸棚や本棚からすぐ離れ、丈夫なテーブルや机の下に身をかくす。トイレ・風呂場・押入れも比較的安全
- あわてて外に飛び出すな**  
どんな大地震でも大揺れは1分程度。あわてて外に飛び出すと、瓦やガラス・看板などの落下で、かえって危険。
- 火が出たら初期消火を**  
「火事だ！」と大声で呼び、隣り近所にも協力を求める。炎や煙にまどわされず、できるだけ近寄って火を消す。
- みんなが助け合っ て応急救護を**  
お年寄りやからだの不自由な人、ケガ人などに声をかけ、みんなが助け合う。応急手当などもみんなが協力して。
- 正しい地震情報に耳をかせ**  
うわさやデマに振り回されない。トランジスタラジオやカーラジオで正しい情報を。
- 避難は冷静に、秩序正しく。**  
決められた避難場所しに、決められた経路を、できるだけ集団で歩いて避難を。持ち物は最少限に。
- 狭い路地や堀ぎわ、がけ・川べりなどに近づかない**  
ブロック塀・門柱・自動販売機などは倒れやすいので要注意。
- 山崩れ・がけ崩れ・津波に注意**  
ラジオやテレビで正しい情報を入手する。津波警報が発令されたら、急いで高い場所に逃げる。



名・年齢・職業・電話番号を明記してお申し込みください。  
〒960福島市森合町6-17  
福島県点字図書館  
☎056022

春の全国火災予防運動  
3月1日～3月7日

安心の暮らしの中心  
火の用心

人口と世帯

2月1日現在(前月比)1月中の動き

人口	男	5,759人 (-4)	転入	27人
	女	6,167人 (+5)	転出	23人
	計	11,926人 (+1)	出生	8人
世帯数	3,099戸 (+1)	死亡	11人	

2月 如月(きさらぎ)

16日(木) 所得税確定申告

19日(日) 雨水

万国郵便連合加盟記念日

ふくしま国体冬期大会スキー競技会

3月 弥生(やよい)

3日(金) 耳の日・ひな祭り

6日(月) 啓蟄

7日(火) 消防記念日

8日(水) 国際婦人デー

こよみ

心配ごと相談日

場所：役場2階相談室(東側入口からお入りください)

時間：9時～12時

こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談ください。

相談員

2月24日(金)	村上金正・安藤トヨ
3月3日(金)	桜沢正・佐藤八重子
3月15日(水)	松浦輝夫・谷津智恵

# PUBLIC HALL NEWS

## 公民館だより

国見町公民館

国見町大字森田字親月台15

TEL 0926776

FAX 092707

### 卒寿や

#### 米寿などをたたえる

##### 阿津賀志学級寿祝い新年会

阿津賀志学級の寿祝い新年会は一月二十日、親月台文化センターホールで開かれ、卒寿、米寿、喜寿、古希の四十六人を祝いました。

学級生約三百人が出席、村上新吉学級委員長と鈴木捷治公民館長があいさつし、来賓の富永武夫町長、仲野周一町議会議長、斎藤久町教育長が祝辞を述べま



▲村上委員長から祝詞などを受ける三ノ輪さん

した。続いて、村上委員長が数えて九十歳を迎える卒寿の三ノ輪フヨさんらに祝詞と記念品を手渡し、長寿を祝福。該当者を代表して古希の安藤政治さんが「輝く余生を目指します」と謝辞を述べました。

ホールでは該当者全員で記念撮影したあと、アトラクションとして行われた藤踊会の皆さんによる舞踊を観賞し楽しいひとときを過ごしたほか、別室で昼食を食べながら、一年の飛躍を誓い合いました。

今年度の寿祝い該当者は次のとおりです。  
(敬称略)

- 卒寿 佐藤カツ、三ノ輪フヨ
- 米寿 奥山シマ、斎藤勘十郎
- 喜寿 佐藤 正、渡辺 ナツ
- 古希 遺藤重俊

### 親子で料理を楽しむ

一月二十二日、二月五日、十九日の三回にわたり、親月台文化センターで町民教室「親子でクッキング」が開かれました。

小学生と親と一緒に調理する教室で七組十七名が参加しました。手軽にできる料理がテーマで、福島市鎌田小の管理栄養士杉崎一江先生を講師に、第一回目メニューはチキンピラフとかきたま汁、第二回目はギョーザとピーナツチョコ、第三回目はオムライスとプリン作りに挑戦しました。



▲親子でチキンピラフ作りを楽しむ

した。全員で会食し、子供たちは満面に笑みを浮かべていました。

教室は二十六日に最終日をおかえ、ポテトグラタン、フルーツサラダ作り挑戦する予定です。

### 自作のそりで

#### 楽しく交流

少年仲間づくり教室は一月十六日、小坂峠で開かれ、自作のそりを持ち寄ってそり滑りを楽しみました。

十一月と十二月の二回の活動で作った手作りのそりを持参し、二十二名の教室生が参加しました。福祉バスで現地向かい、到着してすぐに滑る場所を作る作業にかかりました。

カラフルなスキーウェアを着込んだ教室生は、雪の斜面を踏み固めて約百メートルの直線の自家製



▲そり遊びを楽しむ子どもたち

ゲレンデを整備し、さっそくそり滑りを楽しみました。山中には歓声が響きわたり、雪まみれになりながら交流を深めていました。

### 白銀のゲレンデに

#### 歓声響くノ

公民館主催の「親子スキー教室」は一月二十九日、二本松塩沢スキー場で開催しました。

スキー教室にはカラフルなスキーウェアを身につけた三十八人の親子が参加。スキーは初めてという人もおりましたが、町体協山岳スキークラブ員から歩き方や転び方などの指導を受け、汗をかきながら熱心に練習に励みました。

昼食のあとは親子で思い思いに自由に滑り、親と子が心のふれあいを深め、冬の日を楽しみ過ごしました。



▲快晴に恵まれた親子スキー教室

## 盤上に

### 熱戦を展開

公民館主催、町囲碁同好会と町将棋同好会後援の「第三回町長杯囲碁・将棋大会」が二月五日、親月台文化センターで開かれました。

技術の向上と親善を目的に開かれ、小学生を含め、囲碁の部に十八人、将棋の部に二十七人が参加しました。大会長の富永町長のあいさつ、各審判長から対局上の注意などがあり、実力別にA、B級の二クラスに分かれ、一人五局ずつ対戦を行いました。

盤をばさんで向き合った参加者の皆さんは、「町内一」を決めるにふさわしい好勝負を繰り広げました。



▲盤上に熱戦を繰り広げた町長杯囲碁・将棋大会

成績は次のとおりです。

(敬称略)

#### ◇囲碁の部

##### ▽A級

優勝 村上 健一  
準優勝 奥山 健一  
第一位 木谷 徳博  
第二位 神津 武志  
第三位 大内 正美

##### ▽B級

優勝 八島 孝雄  
準優勝 寺島 勇夫

第一位 斎藤 武男  
第二位 佐藤 豊治  
第三位 平井 賢治

#### ◇将棋の部

##### ▽A級

優勝 玉手 芳正  
準優勝 吉田 倉治  
第一位 小野 忠吾  
第二位 桜沢太一郎  
第三位 羽根善兵衛

##### ▽B級

優勝 村木 貴紀  
準優勝 三田 新五  
第一位 八巻 邦司  
第二位 奥村源四郎  
第三位 五十嵐栄雄

#### 子育てコーナー

### 家庭教育講座 盛況

一月十八日(水) 藤田小学校において、福島大学教育学部教

授の武藤八重子先生の「食卓が育てる子どもの発達」と題しての講演があり、一〇〇名のPTA会員の方がお聞きしました。

十九日(木)には大枝小学校で、福大講師の佐藤博行先生の「いじめについて」ユーモアあふれるお話があり、七〇名のかたが熱心に、楽しく聞き入りました。

二十二日(日)は大木戸小学校と森江野小学校でありました。大木戸小学校では、国見町教育委員長 佐藤利雄先生の「今の子どもたちと家庭教育のあり方」について(出席者六〇名)、森江野小学校では藤田病院小児科医師 市川陽子先生の「子どもの健康」について(出席者八〇名)、それぞれ講演がありました。

そのなかで、いま大きな問題になっている「いじめ」について、大枝小学校の講演で福大講師の佐藤先生が中学校教師として実践されてきたことを、ユーモアたっぷりに、熱っぽく、しかも感銘深く話されたことについてその一部を述べてみます。

☆「いじめ」の原因について  
大きくは大人社会の状況の反映であること。親会社が下請けをいじめる、そこで働くお父さんは、会社でのいらいらが家庭

での暴力になる。教師はいそがし過ぎる校務や、生徒指導のため子どもとふれあう時間がなく、いきおい体罰や管理的指導に埋没することがある。

そして、いじめっ子は愛情に飢えて育てられたこと、いじめられっ子は過保護に育てられ、友達との交わりが少なく、自分で解決する力、自己主張が足りないうことなどがあげられる。

☆これを解決するためには  
いじめられている子を励まし、勇気づけ、自己主張できる「力」を育てること。

いじめられている子に語りかけ、自分の抱えている不幸に負けない「力」を育ててやること。  
このような子どもたちをしっかりと受け止め、育てて行くためには  
①家庭では暴力のない、平和で明るい、幸せいばいの家庭を夫婦で力を合わせ、本気になって取り組むこと。子どもは敏感です。本気が芝居がはずく見破ります。夫婦のちよっとしたいさかいが、子どもたちにとんだ影をおとし、立ち上がる勇気を挫いているか、親は良く理解していないければならない。しかし、力の弱い一人の親だけで解決できるほど問題は簡単ではない。隣どうし、地域内で親どうしが

手を取り合い、情報を交換し知恵を出し合って取り組む体制も大切である。相手だって徒党を組み、知恵をしばっているのだから。

②学校では、教師の体罰をなくすために、全職員が真剣に取り組んで、きっぱりと体罰を無くすこと。

これを実践してきた佐藤先生の体験談はみんなに大きな感銘を与えました。「一つ二つなくってもいいから」という父親、それを心のどこかで肯定する教師、そのような土壌こそ改良して行かなければならない。そのためには一人一人が自覚し、意識を変えて行くしかない。その積み重ねが大企業が中小企業をいじめてゆく風潮も変えて行く大きな力とも、世論ともなる。

③子どもたちも自分たちで暴力やいじめを無くすことを決議し、実行して行く生徒会や児童会を作り上げて行く。体罰をなくし、ふれあいを深め、学校を楽しく場にできるように教師は見守り、誘導して行くことである。

そして何よりも子どもたちに感動を与えるような学校行事を工夫し、勇気を持って自己主張ができる子どもを育てて行くことであると熱っぽく語られました。

## なわとびで

### 体力づくり

大木戸小学校で一月二十八日、児童全員が参加して「なわとび大会」が行われました。

「なわとび大会」は、どこでも手軽にできるなわとびの楽しさを知ってもらい、児童の体力づくりに役立てたいと、毎年こ



記録の更新を目指す児童たち

の時期に行われています。

体育の時間や昼休みを利用して、なわとびの練習を行ってきた児童たちは、一回旋一跳躍などの種目で、自己の記録にのぞきました。

大会終了後には、全員に記録証が、そして、種目ごとの三位までの入賞者には表彰状が贈られました。

## 「鬼は外、福は内」

### 森江野幼稚園

二月三日は節分。町内の保育所や幼稚園には、元気に豆をまく園児たちの声が響き渡りました。

森江野幼稚園では、渡部正俊園長が「節分のいわれ」を園児たちにお話した後、三十一名



元気に豆をまく園児たち

の園児は、手づくりの鬼の面をかぶり、遊戯室やテラスで元氣よく「鬼は外、福は内」と豆をまきました。

あまりの園児の元氣よさに鬼にふんした先生が逃げまどう一幕も見られました。

さて、園児たちは、自分の中の泣き虫鬼や意地悪鬼も追い出せたのかな。

## 各地区で

### スポーツ行事多彩

二月五日、小坂、森江野、大枝地区において、それぞれ綱引き大会、ドッジボール大会、男女混合バレーボール大会が開催され、地区の皆さんは、冬期間の運動不足を解消するともに親睦を深めました。



冬の運動不足を解消（小坂地区）

これらのスポーツ行事は、地区のスポーツ振興会やスポーツ協会が主催となり開催されているもので、地区の恒例の行事となっています。

小坂小学校体育館において行われた綱引き大会には、百二十名が参加、町内会ごとにチームをつくり、男女ともトーナメント方式で優勝を競いました。

## 文化財をパトロール

### 文化財保護審議会

文化財保護審議会（菊池利雄会長）では、一月二十六日、文化財防火デーにちなみ、「貴重な文化財を火災から守ろう」と町教育委員会とともに、町有形の文化財に指定されている光明寺の三常院木造阿弥陀三尊立像な



文化財のパトロールを行う皆さん

どをパトロールしました。

パトロールでは、文化財周辺の防火体制を点検、さらに文化財の保存状況などを調べてまわりました。

先人が築き守ってきた貴重な文化財を後世に伝えることができれば、一人一人が文化財に親しみ、大切に保存したいものです。

阪神大震災は、阪神地区のみならず、日本全土を揺るがした。地震の規模、被災者の数、被害額、どれをとっても私たちの想像をはるかに超えるもの。一日も早い復旧を願わずにはられません。

(S)

発行・編集 国見町総務課

福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁田二.2の1  
 番969-17

☎0245 (85) 2111 F A X 0245 (85) 2181

集  
 日  
 記